

## 横浜市の場合

一住宅事情と生活環境の調査から一

岡村 駿

地 曳良夫

### 1 調査実施のあらまし

この調査は、既成市街地で比較的環境が悪いとされている住工混合地域の実態——環境上どんな問題があり、住民はそれに対してどんな意識をもっているか、また環境整備についてどんな意見をもっているか、を知ろうとしたものである。アンケート調査は、都市科学研究室が民間調査機関に委託し、その企画・分析については、同室の研究会「計画部会」のメンバーが行なった。ただ、今回はほんの手はじめの調査であるため、そうした地域の住民の住宅事情と環境整備の問題に焦点をしばって質問をつくり、最後に「この調査や、区・市役所の仕事、これからの町づくり、都市計画などについて具体的な意見がありましたら、下の余白にご記入ください」という自由回答欄をもうけて、住民の意見や役所に対する受けとめ方をあげてもらった。なお、質問づくりでは、「神戸

市真野地区生活環境基礎調査」<神戸市企画局・47年4月>、「大阪市内住工混合地域における中小工業と住宅の立地条件実態調査」<大阪市総合計画局・44年3日>「白幡地区の生活環境をめぐる調査」<横浜市都市科学研究室・47年8月>、「生活環境についての意識調査」<同室・48年3月>などの調査票を参考にした。

調査対象地区には、横浜市の既成市街地のなかでも、比較的顕著な混合地域となっている、神奈川区神之木・神之木台周辺と南区井戸ヶ谷周辺の両地区をえらんだ。前者は、京浜工業地帯の中核部から少し離れた後背地で、住宅と工場や作業場が入り組んで密集し、後者は、中小の鉄工場や地場産業である捺染工場と住宅・商業地域が混在しており、それぞれ環境を悪化させている。ここで2地区をえらんだ理由は、一般的に住工混合地域と呼ばれていても、住宅と工業や商業との混在率、経済的な背景や歴史的な生いたちなどにより、地区ごとに複雑な条件と多くの問題をかかえ、どちらか一方を代表させることによって、横浜の住工混合地域の特性を一律に論じられないと考えたからである。

調査対象世帯の抽出は、47年10月1日現在の住民登録簿を使用して、両地区に住む約6,000世帯のなかから無作為等間隔に1,000世帯をえらんだ。調査方法は、配布留置訪問回収法で、調査票の配布ならびに訪問回収は、社団法人輿論科学協会に委託した。調査票には、世帯または主婦の方に記入してもらったが、11ページにわたる調査票の余白を埋められ、積極的に調査に協力された両地区住民の皆様に、紙面をかりて厚くお礼を申し上げます。

表 1 調査地区と調査票の回収状況

	全世帯数	調査対象世帯数	有効回収数	回収率
1. 神奈川区神之木・神之木台・入江2丁目 <面積40ha>	2,479世帯	405世帯	347	85.7%
2. 南区井土ヶ谷中町・同下町・中島町1～3丁目・宿町4丁目・大橋町1～2丁目・花之木町3丁目 <面積53ha>	3,559世帯	595世帯	457	76.2%
計	6,038世帯	1,000世帯	804	80.4%

表 2 未回収票の内訳

未回収数	未完理由	住所不明	留守	長期不在	拒否	転居	病気	対象者違い
196 <100.0%>	44 <22.4%>	26 <13.3%>	23 <11.7%>	61 <31.1%>	35 <17.9%>	5 <2.6%>	2 <1.0%>	

図1. 神奈川区神之木・神之木台周辺概略図<縮尺2,500分の1>

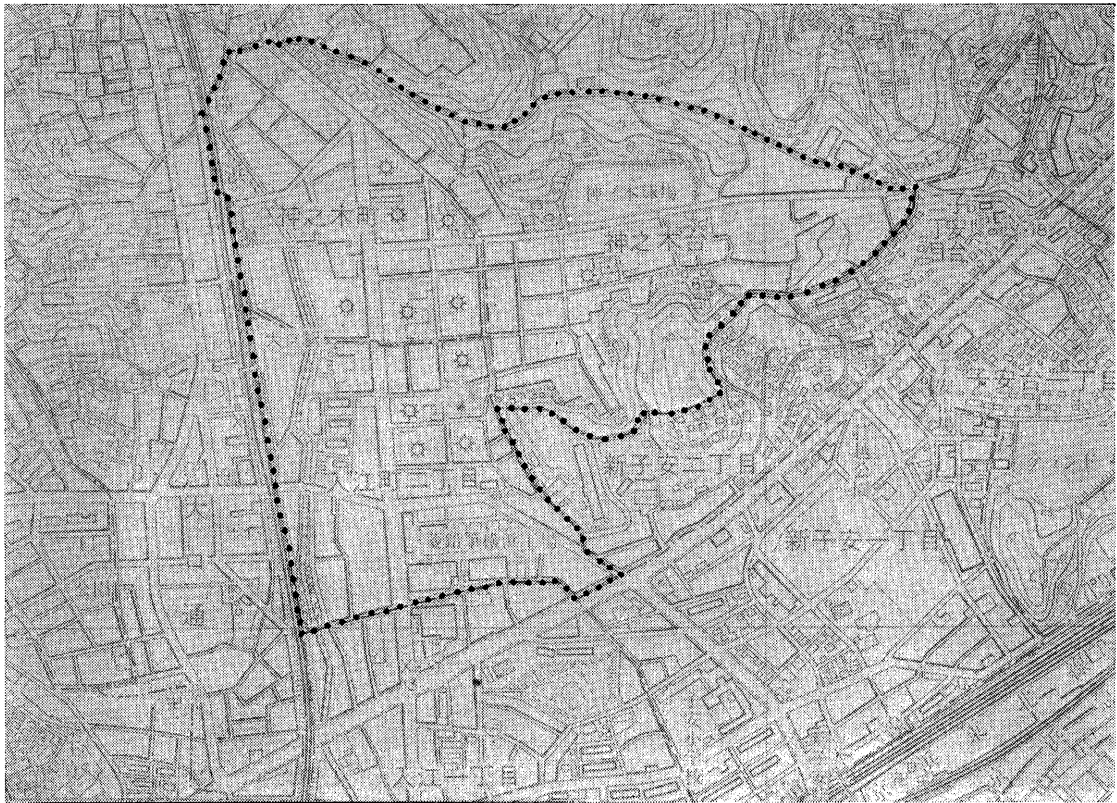
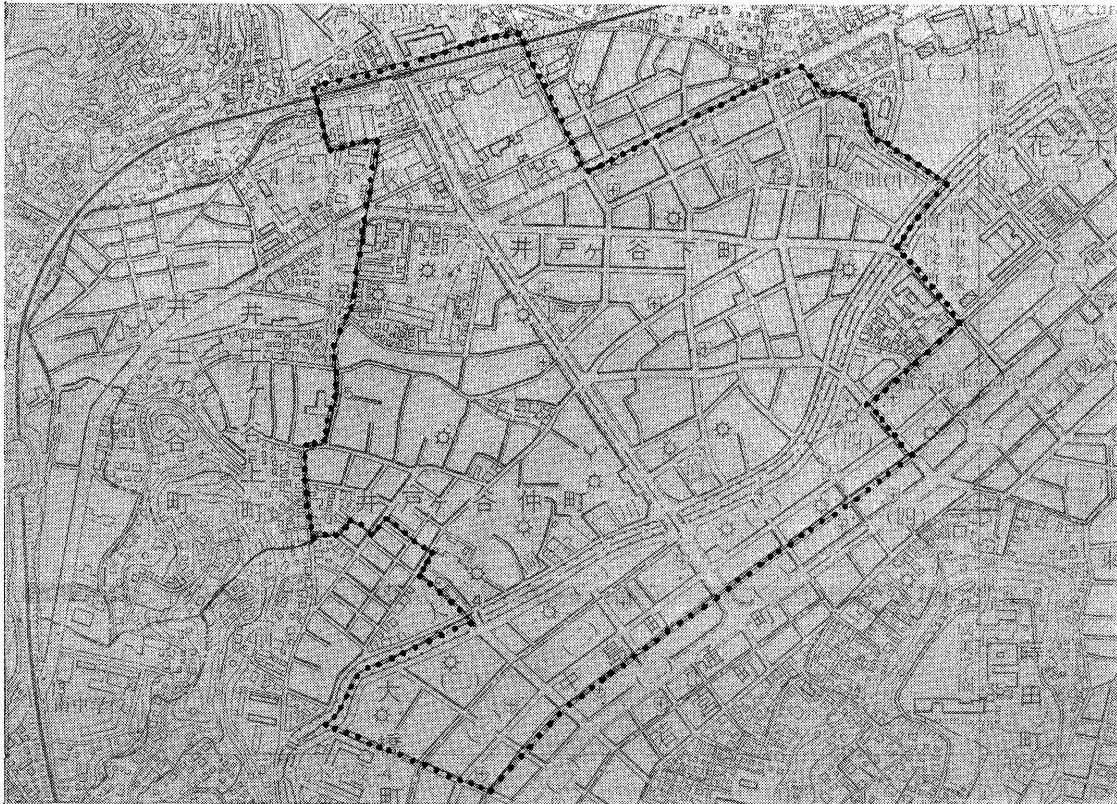


図2. 南区井土ヶ谷周辺概略図<同上>



なお、調査の実施期間は、昭和48年3月9日～16日までの8日間。調査票の回収状況は、表1・2のような結果であった。

## 2 調査対象地区の特徴

### ——住民の意見欄から——

それでは、アンケートによる量的な観察にはいる前に、調査票の最後につけ加えた「この調査や、区・市役所の仕事、これからの町づくり、都市計画などについて具体的な意見がありましたら、下の余白にご記入ください」という自由回答欄から、神之木・神之木台周辺、井土ヶ谷周辺に住む住民が、それぞれの地区の実情や環境上の問題をあげた意見をひろって、両地区の特徴をみてみよう。

この回答欄に記入した人は、神之木・神之木台周辺が85名<25%>、井土ヶ谷周辺が90名<20%>で、神之木・

神之木台周辺に住んでいるの方が、住宅事情について具体的な問題を多く記入しているのが注目された。井土ヶ谷周辺では、住宅事情そのものよりも、土地問題や日照問題、道路問題や交通公害への対策、下水道の整備、防火・防災や緑の確保などの生活環境整備と、役所の仕事のすすめ方に対する意見が多かった。

ともあれ、あげられた意見の内容を大まかに分類すると、①地区の概況や環境整備をめぐる問題、②住宅事情をめぐる問題、③住工混合地域に付随する問題、④地区のかかえる特殊な問題、⑤調査に対する意見、の5つにすることができる。数量的な調査結果の理解を深めるために、以下、それぞれの問題について、両地区住民の具体的な意見をいくつかあげてみよう。それによれば、既成市街地の住工混合地域に共通する悩みも多かったが、神之木・神之木台周辺の住宅事情や生活環境をめぐる条件の方が、井土ヶ谷周辺の問題にくらべて、より深刻であることが示された。

### ①地区の概況や環境整備をめぐる問題について

神之木・神之木台周辺	井土ヶ谷周辺
<p>▼「神之木台地区は地形凸凹多く、道路が平地では幅狭く、一部に舗装されていない地区もあり、また高地区は全く道路が不備であり、災害の場合は&lt;特に火災&gt;惨事の起因となる恐れ大であります。早急に道路整備対策を考慮してもらいたい」&lt;神之木台&gt;</p> <p>▼「私の住まいは神之木台の内でも低いくぼんだ土地に建てられているため、テレビの写りが悪い。また、下水道の流れが悪く、大雨の日はたまって庭まで入る。特にこの地域は、ちびっこ広場がなく、路上で遊ばなければならぬ。火災の場合にただちに防火・防災できるか不安である」&lt;神之木台&gt;</p> <p>▼「現在の私設の保育所・幼稚園はその教育の是非は別としても、非常に月謝が高すぎる。したがって、特に私達、小さい子供を持っている方の生活費用内におけるこの費用が非常に多すぎるので、早急に県営市営の保育所・幼稚園を増やす事を希望する」&lt;神之木台&gt;</p> <p>▼「生活環境改善には、衛生問題から解決してほしい。今だ汲取式なんておそ非衛生的なこと、全面的に水洗便所にすべきだ。個人で改善するには費用が大きすぎるので、市の援助がほしい。何ととってもこれが先決」&lt;神之木台&gt;</p> <p>▼「交通買物には日常便利に過していますが、入江川が汚ないのでがっかりです」&lt;入江2丁目&gt;</p>	<p>▼「家内工業者の密集地では、公害・衛生面の直接的な問題はおこらないが、捺染工場がたてこんでいるので、火災・公害の危険を強く感じている。特に付近建物は、ほとんど木造であるので、大火にでもなったら大きな災害になる恐れあり」&lt;井土ヶ谷下町&gt;</p> <p>▼「家の奥の方の為、水道の出も悪く、道路も狭いのでくみ取りも他所へ迷惑をかける。水洗に今年中になる様ですが、奥の為費用もかさみ大変」&lt;井土ヶ谷中町&gt;</p> <p>▼「今の場所にはあまり不満はないが、近くに大きな建物が出来てから電波障害でテレビがよく見えない。高層ビルが出来ると日あたりが悪くなりますが、平家をたてる土地もないのであきらめている」&lt;同上&gt;</p> <p>▼「半分公道で半分私道に面した所に住んでいます。昨年下水道と水道管の工事がりましたが、公道の所までしかやりません。車や人が通り抜けているので、この様な所は全部公道にすべき。戦前から居るが、隣人との間も不愉快になってきた」&lt;同上&gt;</p> <p>▼「市道と私道の区別があるために水洗便所が遅れている。水洗工事の場合、市道と私道の工事費の平均を望む」&lt;井土ヶ谷下町&gt;</p> <p>▼「大雨が降るとすぐに&lt;大岡川が&gt;浸水する様な事のないよう速やかに処置をしてもらいたい。毎年6月～10月まで不安な状態で大雨警報のたびに夜も休む事ができ</p>

▼「入江川のことですが、私の所だけ防備工事がしてありませんので、雨が降ると夜もおちおち寝られません」 <同上>	ません」<同上> ▼「区役所の環境整備も結構ですが、洪水の危険にさらされている家々の方を重視して頂きたい」<同上>
--	--

注>自由回答欄からの引用は原文のまま、以下同じ。

## ②住宅事情をめぐる問題について

神之木・神之木台周辺	井土ヶ谷周辺
<p>▼「アパートに生活しているものですが、勤め終わってゆっくりくつろぎたいため、隣との間取りを強く丈夫な材料を使って頂きたい。家賃をもう少し値下げして頂きたい」&lt;入江2丁目&gt;</p> <p>▼「県営・市営どちらでもよいが、家賃が安く、一日中陽のあたる家屋が欲しい」&lt;同上&gt;</p> <p>▼「県営住宅アパート等にいずれは入居させて頂きたいと考えておりますが先輩の話によると、どこも申し込んでから入居できるまで何年もの期間を要し、結婚して二人で生活するのは困難だと聞きました。とはいえ民間アパートで結婚しようと思っても、お嫁さんが来てくれるか、それが問題だ」&lt;同上&gt;</p> <p>▼「市営・県営住宅入居の所得制限を実情にあわせて制限して下さい。小企業従業員用の住居購入貸しつけ金を検討して下さい」&lt;同上&gt;</p>	<p>▼「安くて日あたりの良いところに住みたい。自分の家が欲しい。住まいに対して精神的にも経済的にも安心のある生活をしたい」&lt;井土ヶ谷下町&gt;</p> <p>▼「住宅難に当り、自分で土地を求めることも出来ない中小企業のサラリーマンのため、市県営・公団分譲団地等、頭金だけでももう少し少ない50万～100万位までで求められるようにして欲しい」&lt;宿町4丁目&gt;</p> <p>▼「土地を国有化し、例えば自家用住宅地については利用者が土地使用税を納税する。この使用税は、使用面積の大小による累進方式とする。使用面積の最低を100±20%とする場合、最高を500±20%位とし、2ヶ所以上の&lt;所有&gt;使用は禁止する」&lt;花之木町3丁目&gt;</p>

## ③住工混合地域に付随する問題について

神之木・神之木台周辺	井土ヶ谷周辺
<p>▼「終戦後現在の所に住んでおり前から工場は近所でしたが、騒音や振動が激しくなったのは4～5年前からで、フォークリフトが一日中工場を行き来し、道路の真中で大型トラックから荷を積み上げ降しをして危険でたまらない。塀が破壊される毎に交番に訴えても、少しも変わらない。排気ガス・悪臭は全く困り、人の迷惑を考えない業者を制裁したい」&lt;入江2丁目&gt;</p> <p>▼「商売上個人営業ですが、何かと職人の手間等アンバランスで、このままでは将来に不安もあります。組合を通じて、一生懸命頭をひねっておりますが、時節の変動には職人一同頭の足りなさをしみじみ感じます。アンケートの間は、私共にあてはまらぬものもあり、何かとちぐはぐな答えもありますが、貴社の熱意に対し、行く末住みよい世の中になるこ</p>	<p>▼「近くの鋼管会社では、作業場に道路を利用して、長いパイプを出し入れをしている為、いつか事故がおきるのはとハラハラしている。道路の片側は車が駐車してある。青空駐車をもっと強く取り締まって欲しい」&lt;中島町1丁目&gt;</p> <p>▼「夜中の騒音の為、アパートを貸すにも借り人がなく生活にひびく。午前1時～4時30分まで騒音で眠れず、アパートの住人・私共家族がノイローゼになっております。調査の時だけ目をごまかしているの、抜き打ち調査をすべきです」&lt;井土ヶ谷下町&gt;</p> <p>▼「住工共同地区から住工分離地区へ都市整備を行なうこと、地価抑制を行ない借地権者から所有者への変更を促すこと、裏通りへの車両乗り入れ案内標記を改め、車両をしめ出し、昔のような静かな環境を回復すること」&lt;中島町1丁目&gt;</p> <p>▼「住宅に囲まれた工場が移転した場合の跡地利用に高層住宅の建築は次の理由で好ましくありません。在来の家屋との不調和、日あたりが悪くなる、町内自治会との違和感」&lt;井土ヶ谷下町&gt;</p> <p>▼「井土ヶ谷六ヶ町は京急駅付近を除いては、商業的には横浜の谷間に落ちこんでいる。市民を平等に生かす為には、市の公共施設を</p>

とを願います」<神之木台>

設けて底あげすることを強く要望致します。市民税は、私の家では繁華街の同業者よりも高いことを付け加えておきます」<井土ヶ谷中町>

#### ④地区のかかえる特殊な問題について

神之木・神之木台周辺	井土ヶ谷周辺
<p>▼「神之木地区は貨物線が通るのに反対運動を行なっております。市役所及び国鉄と交渉しているのですが、国鉄側は一方的に新貨物線を通す計画で着々準備しており我々神之木住民は、現在は静かな住宅地ですが、新貨物線開通となると、神之木地区も生活環境が非常に悪くなり困っております」&lt;神之木&gt;</p> <p>▼「住宅地に貨物線は困ります。もし通る様になれば、また越す事になります」&lt;同上&gt;</p> <p>▼「貨物線高架は絶対反対です。私達の生活をおびやかすのはやめてほしい。この静かな町に貨物線が通るなんて考えただけで腹が立つ、市・国鉄は余りにもひどい弱い者いじめです。私達はあくまでも反対である事をお察し下さい」&lt;同上&gt;</p> <p>▼「貨物線が通った場合に市役所や区役所が公害・振動などについて、国鉄にどの様に新しい対策をとってくれるかが心配です」&lt;同上&gt;</p>	<p>▼「住宅の土地&lt;借地&gt;問題で困っている。この地区のほとんどの家は大正末期に市が建て管理していたが、土地は各地主がもっていた。2年前位から、にわか土地を買って欲しいと市が一方的に各住人に通達してきた。これに対し、約100坪で市に陳情し、一度はこの運動成功したかに見えたが、今度は全く一方的に地代の値上げを2年間の間に数回され、唾然としているが、これを認めなければ、直ぐ買えという事と推察出来る。40年間住んでいる吾々の意志を全く無視した市当局は如何なる事を考えているか不可解である。土地・住宅問題をもう少し検討してもらいたい」&lt;井土ヶ谷中町&gt;</p> <p>▼「家は大正13年に建ったもので相当いたんでいたり、地盤が沈下して改築しなければならぬが、市がそれを許してくれず困っている。また、借地代が年々倍額にあがるし、今以不安でならない。地代支払方は分割してもらいたいと思うし、地主の一方的な値上げは反対、団体で地主と話したい」&lt;同上&gt;</p>

#### ⑤調査に対する意見

今回の調査に対する意見は、井土ヶ谷周辺にはみられなかったが、神之木・神之木台周辺では、7名が具体的な意見を記入した。たとえば、「調査するだけでなく、もっと活用してもらいたい。都市計画等これだけ家が建てこんでいると変更するのは難しい。民間業者が建売住宅等ごてごて建てる前に先手を取らなければ費用手数の面でも無理だと思う」<入江丁2目>と、役所の仕事の立ち遅れを指摘する人、「調査は、市民の声を聞くという点ではよいと思いますが、今度の調査を市政を動かしている方に質問して不都合な点を改善していただきたいと思います」<同上>と、職員の姿勢に不満を感じる人、「この調査の結果が世に発表されても、この地区はいまほとんど変わらないと思う。人間がきれいな空気を吸える時は、その年に大きな戦争か、大地震がおきて、日本全土の文明を破壊し、昔の日本にもどる時以外にないだろう」<神之木台>と、悲観的な意見を述べる人など

複雑な受けとめ方であり、また、「言いたい事はあるが全面的に意見が通る事は無理だと思うので、記入はおさえました」<同上>という人もいた。しかし、これらの意見が、神之木・神之木台周辺だけにだされたということは、井土ヶ谷周辺にくらべて、回収率も高く<86%>意見欄に記入した人も多いことを考えあわせると、神之木・神之木台周辺の住民の方が、今回の調査に対する関心、つまり、地区の環境に対する関心や環境整備を求める気持が強いことを示すものであろう、と考えられる。

つぎに、アンケート調査に回答した804名の内訳は、表1~9に示すとおりである。それによると、つぎのような傾向が、両地区の特徴として注目された。

①世帯主の職業については、労務職と商工サービス自営業が多く、この2つをあわせると、両地区ともに全体の半数以上を占めていた。

②居住年数をみると、新旧住民層の割合が、神之木・神

之木台周辺では、鶴見・神奈川・西・中・磯子区などの臨海部旧市街地をあわせて集計した平均値く「生活環境についての意識調査」の結果にはほぼ近かった。一方の井土ヶ谷周辺では、昭和30年以前から住む旧住民層が多く、戦前からの居住者だけでも、全体の約4割を占める。逆に、居住年数7年未満の新住民層の割合は比較的少なかった。

③世帯主の前住地では、両地区とも、同じ区内からの転

入者が多く、これに加えて、神之木・神之木台周辺では他府県からの転入者、井土ヶ谷周辺では土地っ子の比率が高かったが、東京・川崎などからの転入者は比較的低かった。

注>以下、表や数字が多くなるが、表の資料的な役割を認め、あえて載せることにし、解説はできるだけ簡略にした。

表 3 世帯主の年齢

	神奈川区 神之木・神之木台周辺	南区 井土ヶ谷周辺	計
	人数	人数	人数
1. ~24歳未満	20 <5.8>	17 <3.7>	37 <4.6>
2. 25~29歳	32 <9.2>	37 <8.1>	69 <8.6>
3. 30~34歳	51 <14.7>	63 <13.8>	114 <14.2>
4. 35~39歳	39 <11.2>	55 <12.0>	94 <11.7>
5. 40~44歳	34 <9.8>	61 <13.3>	95 <11.8>
6. 45~49歳	39 <11.2>	53 <11.6>	92 <11.4>
7. 50~59歳	75 <21.6>	84 <18.4>	159 <19.8>
8. 60歳以上	55 <15.9>	87 <19.0>	142 <17.7>
9. 不明	2 <0.6>	0 -	2 <0.2>
計	347 <100.0>	457 <99.9>	804 <100.0>

表 5 勤め先の所在地

	神奈川区 神之木・神之木台周辺	南区 井土ヶ谷周辺	計
	人数	人数	人数
1. 同じ区内	70 <20.2>	86 <18.8>	156 <19.4>
2. 横浜市内	67 <19.3>	125 <27.4>	192 <23.9>
3. 川崎市内	31 <8.9>	13 <2.8>	44 <5.5>
4. 大船, 藤沢, 平塚, 横須賀市内 <1~4を除く>	5 <1.4>	4 <0.9>	9 <1.1>
5. 神奈川県内	8 <2.3>	8 <1.8>	16 <2.0>
6. 東京都内	39 <11.2>	48 <10.5>	87 <10.8>
7. その他	3 <0.9>	1 <0.2>	4 <0.5>
8. 勤めていない	102 <29.4>	158 <34.6>	260 <32.3>
9. 不明	22 <6.3>	14 <3.1>	36 <4.5>
計	347 <99.9>	457 <100.1>	804 <100.0>

表 7 アンケートの記入者

	神奈川区 神之木・神之木台周辺	南区 井土ヶ谷周辺	計
	人数	人数	人数
1. ご主人	206 <59.4>	280 <63.2>	495 <61.6>
2. 奥様	141 <40.6>	167 <36.5>	308 <38.3>
3. その他	0	1 <0.2>	1 <0.1>
計	347 <100.0>	457 <100.0>	804 <100.0>

表 4 世帯主の職業

	神奈川区 神之木・神之木台周辺	南区 井土ヶ谷周辺	計
	人数	人数	人数
1. 商工サービス自営	63 <18.2>	100 <21.9>	163 <20.3>
2. 自由業	0 -	4 <0.9>	4 <0.5>
3. 公務員	10 <2.9>	33 <7.2>	43 <5.3>
4. 管理職	29 <8.4>	53 <11.6>	82 <10.2>
5. 専門技術職	13 <3.7>	17 <3.7>	30 <3.7>
6. 事務職	35 <10.1>	44 <9.6>	79 <9.8>
7. 労務職	131 <37.8>	131 <28.7>	262 <32.6>
8. 無職	30 <8.7>	34 <7.5>	58 <7.9>
9. 分類不能・不明	36 <10.4>	41 <9.0>	77 <9.6>
計	347 <100.2>	457 <100.1>	804 <99.9>

表 6 家族構成

	神奈川区 神之木・神之木台周辺	南区 井土ヶ谷周辺	計
	人数	人数	人数
平均家族員数	3.63	3.56	3.59
1. 単身者の世帯	42 <12.1>	52 <11.4>	94 <11.7>
2. ご夫婦のみの世帯	36 <10.4>	42 <9.2>	78 <9.7>
3. ご夫婦とその子供 のみの世帯	197 <56.8>	228 <49.9>	425 <52.9>
4. ご夫婦とその子供 及びご両親の世帯	53 <15.3>	81 <17.7>	134 <16.7>
5. ご夫婦とご両親 のみの世帯	6 <1.7>	15 <3.3>	21 <2.6>
6. その他	11 <3.2>	36 <7.9>	47 <5.8>
7. 不明	2 <0.6>	3 <0.7>	5 <0.6>
計	347 <100.0>	457 <100.0>	804 <100.0>

表 8 居住年数

	神奈川区 神之木・神之 木台周辺	南区 井土ヶ谷周辺	計	鶴見・神奈川・ 西・中・磯子区 の平均	南・港南・保土 ヶ谷・金沢・港 北区の平均
1. 3年未満	87 <25.1>	91 <19.9>	178 <22.1>	<26.7>	<28.7>
2. 7年未満<40年以降>	62 <17.9>	64 <14.0>	126 <15.7>	<18.5>	<27.1>
3. 12年未満<35年以降>	43 <12.4>	38 <8.3>	81 <10.1>	<14.0>	<12.9>
4. 17年未満<30年以降>	42 <12.1>	45 <9.8>	87 <10.8>	<8.5>	<6.6>
5. 27年未満<終戦後>	62 <17.9>	101 <22.1>	163 <20.3>	<18.0>	<14.5>
6. 27年以上<戦前から>	51 <14.7>	116 <25.4>	167 <20.8>	<14.0>	<10.0>
7. 不明	0 -	2 <0.4>	2 <0.2>	<0.3>	<0.3>
計	347 <100.1>	457 <99.9>	804 <100.0>	<100.0>	<100.1>

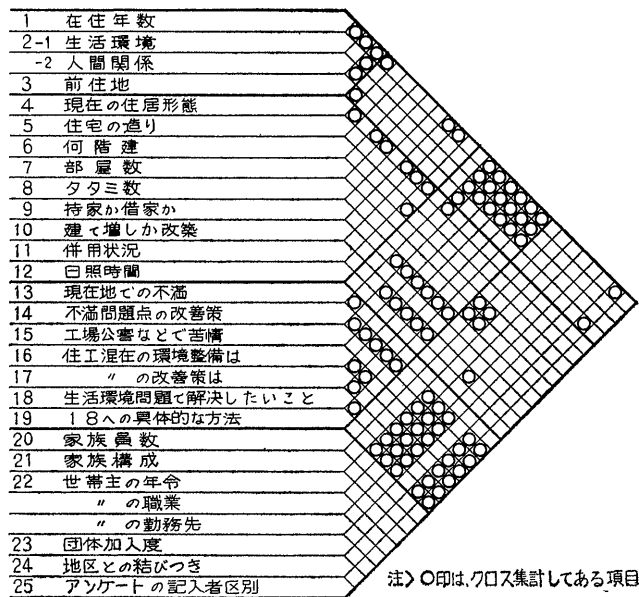
注> 右欄2つの比較資料は、「生活環境についての意識調査」<48年3月>による。

表 9 世帯主の前住地<世帯主の方がこの土地にくる前にお住みになっていたのはどこですか>

	神奈川区 神之木・神之 木台周辺	南区 井土ヶ谷周 辺	計	鶴見・神奈川・ 西・中・磯子区 の平均	南・港南・保土 ヶ谷・金沢・港 北区の平均	旭・緑・戸 塚・瀬戸区 の平均	横浜市 計
1. 今住んでいる所と同じ区内	107 <30.8>	144 <31.5>	251 <31.2>	39 <10.3>	47 <12.4>	32 <9.3>	118 <10.7>
2. 横浜市内	74 <21.3>	122 <26.7>	196 <24.4>	143 <37.8>	133 <35.0>	124 <36.2>	400 <36.3>
3. 川崎市内	16 <4.6>	9 <2.0>	25 <3.1>	28 <7.4>	28 <7.4>	34 <9.9>	90 <8.2>
4. 大船・藤沢・平塚・横須賀市内	5 <1.4>	11 <2.4>	16 <2.0>	4 <1.1>	9 <2.4>	19 <5.5>	32 <2.9>
5. <1~4を除く>神奈川県内	13 <3.7>	10 <2.2>	23 <2.9>	7 <1.9>	7 <1.8>	9 <2.6>	23 <2.1>
6. 東京都内	33 <9.5>	27 <5.9>	60 <7.5>	53 <14.0>	73 <19.2>	66 <19.2>	192 <17.4>
7. その他の府県	70 <20.2>	61 <13.3>	131 <16.3>	55 <14.6>	58 <15.3>	47 <13.7>	160 <14.5>
8. 不明	7 <2.0>	11 <2.4>	18 <2.2>	0 -	1 <0.3>	0 -	1 <0.1>
9. 生まれた時からずっと住んで いる	22 <6.3>	62 <13.6>	84 <10.4>	49 <13.0>	24 <6.3>	12 <3.5>	85 <7.7>
計	347 <99.8>	457 <100.0>	804 <100.0>	378 <100.1>	380 <100.1>	343 <99.9>	1101 <99.9>

注> 比較資料は、「生活環境についての意識調査」<48年3月>による。

図3. クロス集計項目



### 3 住宅事情をめぐる問題

第3章からは、アンケートの量的観察を行う。この調査は、①現在の場所に住む以前の住宅事情、②現住地での住宅事情、③現住地での生活環境をめぐる問題、などおもに3本の柱から成っている。要約すれば、どのような人々が、いかなる事情で、前住地を引き払い、現在の住宅地に住むことになったのか、そして、どんな住宅事情のもとで生活し、日頃、生活環境に対して、どんな考えをもっているのか、また、地区とはどんな結びつきをもっているのか、などの問題である。

3章では、このうち、①と②を観察していく。そして、一口に住工混合地域といっても、住宅事情で、共通する悩みと、両地区での違いは、どういうところに見られるか、以下の集計結果から、明らかにしていきたい。

#### ①前住地での住宅事情

神之木・神之木台周辺地区と井土ヶ谷周辺地区の人々は、現在の住まいに住む前はどんな住宅に住んでいたのだろうか。そして、何故そこを引き払って、現在の住まいに移り住むことになったのであろうか。また、横浜に住むことになったのはどういうことからののであろうか。まず、前住地での住居形態からみてみた<表10>。生れてからずっと住んでいる“土地っ子”を除いて集計してみると、両地区の間では目立った差はない。もっとも多いのが「一戸建持家」で、両地区合わせて28%いた。次に「一戸建借家」が22%、「民間賃貸アパート」が20

%,「間借り、下宿」が11%,そして「寮」という順であり、ほかから現在の住まいに移ってきた人の6割が、借家・アパート・間借り・下宿といった民間賃貸住宅の居住者であった。

つぎに、前住地の住まいを引き払った理由をたずねた<表11>。

複数回答のため答は一つの理由にだけ集中することなく多様な理由が重複していることを示している。両地区とも、E「その他の都合」、C「仕事や商売の関係」、D「家族構成に変化」、A「住宅そのものに不満」というものに40%から30%の回答をしている。ただ、Aのところだけ両地区で約9%の差があるのは、両地区の住宅事情・生活環境の違いによるのであろうか。

これをさらに詳細な理由でみると、神之木・神之木台周辺では「転職・転勤のため」が23%と高い。他に「結婚して世帯をもった」、「とにかくせまかった」、そして「立退きをせまられた」が目につく。井土ヶ谷周辺では「とにかくせまかった」が20%で最も高く、以下同じ理由が目立つ。ただ、違いといえば「震災・火災・水害にあった」が12%と高いことである。

今度は、この引き払われた理由を横浜市平均<「生活環境についての意識調査」の結果>と比較してみた<表12>。複数回答と単数回答の比較なので一概にはいえぬが大体の差は認められる。両地区とも市平均とくらべて、「住宅そのものに不満」、「まわりの環境がよくなかった」、「家族構成に変化があった」のこの3つの理由が高い。それでは、前住地での住まいを引き払って、現住地へ移

表10 前住地では、どんな住宅にお住まいでしたか。次のどれにあたりますか。

	神奈川県 神之木・神之木台周辺		南区 井土ヶ谷周辺		計	
	件数	%	件数	%	件数	%
1. 一戸建持家	87	26.8	120	30.4	207	28.8
2. 分譲マンション・分譲団地	0	—	0	—	0	—
3. 一戸建借家	70	21.5	95	24.1	165	22.9
4. 市<県>営・公社公団などの賃貸住宅	1	0.3	9	2.3	10	1.4
5. 社宅・公務員住宅	22	6.8	14	3.5	36	5.0
6. 民間の賃貸アパート	64	19.7	82	20.8	146	20.3
7. 間借り・下宿	41	12.6	42	10.6	83	11.5
8. 寮	28	8.6	13	3.3	41	5.7
9. その他<具体的に > <不明>	6	1.8	12	3.0	18	2.5
	6	1.8	8	2.0	14	1.9
計	325	100.0	395	100.0	720	100.0



表11 前住地のお住まいをひきはられた理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

		神奈川区 神之木・神 之木台周辺	南区 井土ヶ谷周 辺	計
A住宅そのもの に不満があっ た	1. とにかくせまかった	51 <15.7>	79 <20.0>	130 <18.1>
	2. 間取りや設備がわるかった	22 <6.8>	29 <7.3>	51 <7.1>
	3. 建物がいたんでいた	16 <4.9>	21 <5.3>	37 <5.1>
	4. 日あたり、風通しがわるかった	26 <8.0>	27 <6.8>	53 <7.4>
	5. 間借り<同居>であった	20 <6.2>	26 <6.6>	46 <6.4>
	6. その他の住宅関係の不満	4 <1.2>	16 <4.1>	20 <2.8>
	回答者数	<b>94 &lt;28.9&gt;</b>	<b>146 &lt;37.7&gt;</b>	<b>243 &lt;33.8&gt;</b>
Bまわりの環境 がよくなかつ た	1. 空気がよごれていた	19 <5.8>	11 <2.8>	30 <4.2>
	2. 工場の音や振動でやかましかった	7 <2.2>	8 <2.0>	15 <2.1>
	3. 車などの音や振動でやかましかった	20 <6.2>	28 <7.1>	48 <6.7>
	4. 建てこんでいて火事や地震の危険があった	29 <8.9>	25 <6.3>	54 <7.5>
	5. 子供を安心して遊ばせるところがなかった	15 <4.6>	26 <6.6>	41 <5.7>
	6. 保育所・病院・公園などがなかった	4 <1.2>	4 <1.0>	8 <1.1>
	7. その他の環境についての不満	6 <1.8>	13 <3.3>	19 <2.6>
回答者数	<b>75 &lt;23.1&gt;</b>	<b>85 &lt;21.5&gt;</b>	<b>160 &lt;22.2&gt;</b>	
C仕事や商売の 関係で	1. 工場や店がせまくなったから	3 <0.9>	2 <0.5>	5 <0.7>
	2. 仕事や商売をする上で不便なところだったから	13 <4.0>	27 <6.8>	40 <5.6>
	3. 内職や副業に不便であったから	0 -	3 <0.8>	3 <0.4>
	4. 勤めをやめて独立したから	12 <3.7>	24 <6.1>	36 <5.0>
	5. 就職・転勤のため	75 <23.1>	48 <12.2>	123 <17.1>
	6. その他の仕事や商売の関係で	22 <6.8>	41 <10.4>	63 <8.8>
回答者数	<b>124 &lt;38.2&gt;</b>	<b>139 &lt;35.2&gt;</b>	<b>263 &lt;36.5&gt;</b>	
D家族構成に変 化があった	1. 家族数がふえた	32 <9.8>	55 <13.9>	87 <12.1>
	2. 家族数がへった	6 <1.8>	11 <2.8>	17 <2.4>
	3. 結婚してあたらしく世帯をもった	60 <18.5>	57 <14.4>	117 <16.3>
	4. 以前の世帯より独立した	10 <3.1>	13 <3.3>	23 <3.2>
	5. その他の家族構成の変化	8 <2.5>	10 <2.5>	18 <2.5>
回答者数	<b>109 &lt;33.5&gt;</b>	<b>141 &lt;35.7&gt;</b>	<b>250 &lt;34.7&gt;</b>	
Eその他いろい ろな都合で	1. 家賃が高かった	6 <1.8>	15 <3.8>	21 <2.9>
	2. 立退きをせまられた	35 <10.8>	40 <10.1>	75 <10.4>
	3. 戦災・火災・水害にあった	22 <6.8>	49 <12.4>	71 <9.9>
	4. 借家であったため、とにかく自分の家がほしかった	31 <9.5>	26 <6.6>	57 <7.9>
	5. その他の都合で	38 <11.7>	38 <9.6>	76 <10.6>
回答者数	<b>128 &lt;39.4&gt;</b>	<b>157 &lt;39.7&gt;</b>	<b>285 &lt;39.6&gt;</b>	
Fその他	1. とくに理由なし	17 <5.2>	16 <4.1>	33 <4.6>
	2. 昔のことでよくわからない	4 <1.2>	8 <2.0>	12 <1.7>
	3. その他	5 <1.5>	2 <0.5>	7 <1.0>
回答者数	<b>26 &lt;8.0&gt;</b>	<b>26 &lt;6.6&gt;</b>	<b>52 &lt;7.2&gt;</b>	
計		<b>325 &lt;100.0&gt;</b>	<b>395 &lt;100.0&gt;</b>	<b>720 &lt;100.0&gt;</b>

り住むことにより、以前の不満は解消したのかどうか  
 <表13>。

両地区合わせて、「解消した」と答えた人は15%、「多少は解消した」と答えた人は20%で、35%の人は転居によって問題解消の効果があつたことを認めている。ただ「とくに不満があつて移ってきたのではない」と答えた人が46%もあつたということは、転居というものが必ずしも前住地での不満解消を目的としてなされるものではないということであろうか。

では、横浜の現在の住まいに住むことになったのはどう

いうことからなのか。その結果は表14の通りであつた。

それによると、「勤め先や仕事の関係で」と答えた人がもっとも多い。特に、神之木・神之木台周辺は井土ヶ谷周辺や市平均よりもきわだつている。つぎに、「親兄弟がいたり、知人の紹介で」が多い。これは市平均よりもかなり高い。そのつぎは「手頃な住宅があつたから」が目立つ。しかし、これは市平均よりは低い。

ここで、前住地での住まいの6割が賃貸住宅であつたという事実は、どう理解したらよいであろう。両地区の実

際の実生活環境がかなり悪いということから、良い環境を

表12 世帯主の方が前に住んでいたところのお住まいをひきはらわれた一番の理由は次のうちどれですか。<単数回答>

	鶴見・神奈川・西・中・磯子区の平均	南・港南・保土ヶ谷・金沢・港北区の平均	旭・緑・戸塚・瀬谷区の平均	横浜市計
1. 住宅そのものに不満があつたから	43 <13.1>	43 <12.1>	64 <19.3>	150 <14.8>
2. まわりの環境がよくなかつたから	9 <2.7>	18 <5.1>	14 <4.2>	41 <4.0>
3. 勤務・商売・事業の関係から	113 <34.3>	114 <32.1>	84 <25.4>	311 <30.6>
4. 家族構成に変化があつたから	60 <18.2>	69 <19.4>	52 <15.7>	181 <17.8>
5. その他いろいろな都合から	90 <27.4>	95 <26.8>	107 <32.3>	292 <28.8>
6. とくに理由なし、わからない	14 <4.3>	16 <4.5>	10 <3.0>	40 <3.9>
計	329 <100.0>	355 <100.0>	331 <99.9>	1,015 <99.9>

表13 前住地からこちらへ移られたことによって不満は解消しましたか。

	神奈川区 神之木・神之木台周辺	南区 井土ヶ谷周辺	計
1. 解消した	51 <15.7>	61 <15.4>	112 <15.6>
2. 多少は解消した	63 <19.4>	83 <21.0>	146 <20.3>
3. 解消しなかつた	15 <4.6>	19 <4.8>	34 <4.7>
4. いちがいにいえぬ	37 <11.4>	54 <13.7>	91 <12.6>
5. とくに不満があつて移ってきたのではない	159 <48.9>	178 <45.1>	337 <46.8>
計	325 <100.0>	395 <100.0>	720 <100.0>

表14 では、お宅が横浜の現在のお住いに住むことになったのはどうということからでしょうか。次の中から主な理由を1つだけあげてください。

	横浜市平均	神奈川区 神之木・神之木台周辺	南区 井土ヶ谷周辺	計
1. 東京に近い	17 <1.8>	3 <0.9>	1 <0.3>	4 <0.6>
2. 勤め先や仕事の関係で	377 <38.9>	145 <44.6>	138 <34.9>	283 <39.3>
3. 買物や通学に便利がよい	15 <1.5>	14 <4.3>	13 <3.3>	27 <3.8>
4. 親、兄弟がいたり、知人の紹介で	115 <11.8>	56 <17.2>	78 <19.7>	134 <18.6>
5. 結婚のため	94 <9.7>	33 <10.2>	36 <9.1>	69 <9.6>
6. 横浜のイメージが好きだから	19 <2.0>	5 <1.5>	9 <2.3>	14 <1.9>
7. 手頃な住宅があつたから	226 <23.4>	55 <16.9>	70 <17.7>	125 <17.4>
8. その他<具体的に>	89 <9.2>	12 <3.7>	44 <11.1>	56 <7.8>
9. わからない	17 <1.8>	2 <0.6>	6 <1.5>	8 <1.1>
計	969 <100.1>	325 <100.0>	395 <100.0>	720 <100.0>

求めて現在の住宅へ住みかえた人は少なく、仕事や家族かえた人の多数が、良好な環境など求め得られる余裕の都合、あるいは住宅事情が住みかえの大きな要因をなさない層ではないだろうか。

していたのであろう。それはまた、現在の住宅へと住み

表15 現在のお住まいは、つぎのうちどれにあたりますか。

	神奈川県 神ノ木・神ノ木台周 辺		南区 井土ヶ谷周 辺		計	
	数	%	数	%	数	%
1 一戸建持家	145	<41.8>	225	<49.2>	370	<46.0>
2. 分譲マンション, 分譲団地	0	<0.0>	4	<0.9>	4	<0.5>
3. 一戸建借家	32	<9.2>	61	<13.3>	93	<11.6>
4. 市<県>営・公団などの賃貸住宅	17	<4.9>	24	<5.3>	41	<5.1>
5. 社宅, 公務員住宅	12	<3.5>	8	<1.8>	20	<2.5>
6. 民間賃貸アパート	102	<29.4>	92	<20.1>	194	<24.1>
7. 間借り, 下宿	19	<5.5>	22	<4.8>	41	<5.1>
8. 寮	8	<2.3>	5	<1.1>	13	<1.6>
9. その他<具体的に>	9	<2.6>	10	<2.2>	19	<2.4>
10 不明, 無回答	3	<0.9>	6	<1.3>	9	<1.1>
計	347	<100.0>	457	<100.0>	804	<100.0>

表16 住居形態×居住年数

	3年未満	~7年未満 <昭和40年 以降>	~12年未満 <35年以降>	~17年未満 <30年以降>	~27年未満 <20年8月15 日以降>	27年以上 <戦前から>	わからない	計
	一戸建持家	14 7.9 <3.8>	12 9.5 <3.2>	17 21.0 <4.6>	58 66.7 <15.7>	129 79.1 <34.9>	139 83.2 <37.6>	1 50.0 <0.3>
分譲マンション, 分譲団地	1 0.6 <25.0>	0 0.0 <0.0>	0 0.0 <0.0>	0 0.0 <0.0>	1 0.6 <25.0>	2 1.2 <50.0>	0 0.0 <0.0>	4 0.5 <100.0>
一戸建借家	14 7.9 <15.1>	32 25.4 <34.4>	16 19.8 <17.2>	9 10.3 <9.7>	12 7.4 <12.9>	9 5.4 <9.7>	1 50.0 <1.1>	93 11.6 <100.0>
市<県>営・公団な どの賃貸住宅	28 15.7 <68.3>	4 3.2 <9.8>	3 3.7 <7.3>	1 1.1 <2.4>	5 3.1 <12.2>	0 0.0 <0.0>	0 0.0 <0.0>	41 5.1 <100.0>
社宅・公務員住宅	8 4.5 <40.0>	4 3.2 <20.0>	2 2.5 <10.0>	2 2.3 <10.0>	3 1.8 <15.0>	1 0.6 <5.0>	0 0.0 <0.0>	20 2.5 <100.0>
民間賃貸アパート	89 50.0 <45.9>	53 42.1 <27.3>	32 39.5 <16.5>	9 10.3 <4.6>	6 3.7 <3.1>	5 3.0 <2.6>	0 0.0 <0.0>	194 24.1 <100.0>
間借り, 下宿	15 8.4 <36.6>	12 9.5 <29.3>	6 7.4 <14.6>	5 5.7 <12.2>	1 0.6 <2.4>	2 1.2 <4.9>	0 0.0 <0.0>	41 5.1 <100.0>
寮	7 3.9 <53.8>	4 3.2 <30.8>	2 2.5 <15.4>	0 0.0 <0.0>	0 0.0 <0.0>	0 0.0 <0.0>	0 0.0 <0.0>	13 1.6 <100.0>
その他<具体的に>	1 0.6 <5.3>	4 3.2 <21.1>	2 2.5 <10.5>	2 2.3 <10.5>	5 3.1 <26.3>	5 3.0 <26.3>	0 0.0 <0.0>	19 2.4 <100.0>
不明, 無回答	1 0.6 <11.1>	1 0.8 <11.1>	1 1.2 <11.1>	1 1.1 <11.1>	1 0.6 <11.1>	4 2.4 <44.4>	0 0.0 <0.0>	9 1.1 <100.0>
計	178 100.0 <22.1>	126 100.0 <15.7>	81 100.0 <10.1>	87 100.0 <10.8>	163 100.0 <20.3>	167 100.0 <20.8>	2 100.0 <0.2>	804 <100.0>

注>各欄の数字は  

実数
タテ集計%
ヨコ集計%

 というようになっている。